



## 志を立てる

～ 桜木中生よ、大志を抱け ～

校長 五十嵐 圭一

明けましておめでとうございます。昨年は、保護者、地域の皆様には、本校の教育活動に対し多大なるご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございました。本年も、学校教育目標「溢れる英知 輝く笑顔」の実現に向け全力で取り組みたいと考えております。よろしく願いいたします。

さて、年頭にあたり、「志（こころざし）を立てる」という話をしたいと思います。「志」とは、心に思い決めた目標のことですが、とりわけ大きな目標をあらわす時に使われる言葉です。

「少年よ、大志を抱け」は、ウィリアム・クラーク博士が札幌農学校（現在の北海道大学）を去るにあたり、学生たちに残した言葉としてあまりにも有名ですが、その他にも、「われ十有五にして学に志す」（孔子）や、「日本一の智者になろう」（日蓮上人 12歳）など、若者が志を立てることの大切さを示す言葉が多くみられます。人生を歩む上で、何かしら志を立てることは、とても大切です。そして、立てた志を達成するために努力をしていくことが、人生の充実感につながります。特に、生徒の皆さんをはじめ10代の若者にとって「志を立てる」ことは、力強い人生を歩む原動力になるのではないのでしょうか。

今年も、学校において、「GIGAスクール構想（\*）」によりデジタル化が急速に進み、まもなく一人1台パソコンが現実となります。授業をはじめ学校生活が大きく変わることが予想されます。コロナ禍への対応など、先行き不透明で予測困難な時代ですが、令和3年は、時代の大きな転換期となるでしょう。このような時こそ、長い目、広い目で人生を見渡し、大きな志を立てることが大事なのです。年頭に当たり、ゆっくりと考えてみるのもよいかと思います。

改めて、本年が、生徒、保護者、地域の皆様にとって最良の年となりますよう、心からお祈りいたします。



\* 「GIGAスクール構想」

子どものころからICT環境になじむため、一人1台のパソコンを備えた学校のあり方を推進していく国の方針。GIGA（ギガ）とは、Global and Innovation Gateway for Allの略。